

保谷二小 研究便り

令和5年 10月11日
西東京市立保谷第二小学校
校長 三澤 亘潤
研究推進部主任

研究主題 自ら探究する児童の育成 ～「市民科」単元開発を通して～

今年度2回目の研究授業を、9月27日(水)に行いました。低学年では、地域の人やもの、この中から様々なことを体験し、気付いたことから考えようとする児童の育成を目指しています。2年生では、生活科の授業において国語科での学びも生かしながら学習を進めています。また、地域の人とのつながりをもつことで、より気付きを増やし、「もっと考えたい、もっとやってみたい、もっと調べたい」という気持ちを育てていきます。

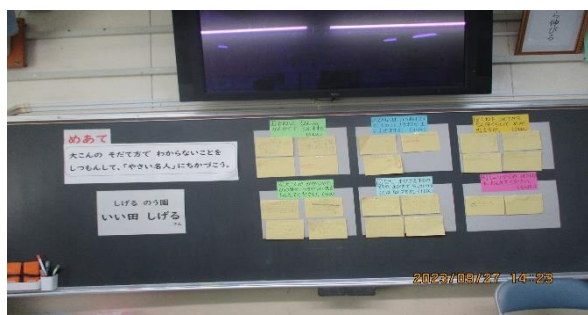
～第2回研究授業 9月27日(水)～ 2年2組 市民科「やさしい名人になろう」

2年生は夏野菜(ミニトマト、なす、きゅうり)を育てた経験から、冬野菜も育てたいという気持ちが生まれました。また、ミニトマトを収穫して、みんなで「乾杯!」をして食べた経験から、冬野菜でも「みんなでお祭りのようなことをして食べたい」という気持ちも生まれてきています。

冬野菜について調べる際、学校の学習や家庭での反転学習で多くのことを知りました。その後、調べた野菜の中から大根を育てることを決めた後、近隣にお住まいの農家さんにご協力いただき、動画インタビューにて大根の栽培方法を学びました。27日(水)の授業では、農家さんにご来校頂き、動画インタビューを見て、生まれた疑問を直接質問することができました。

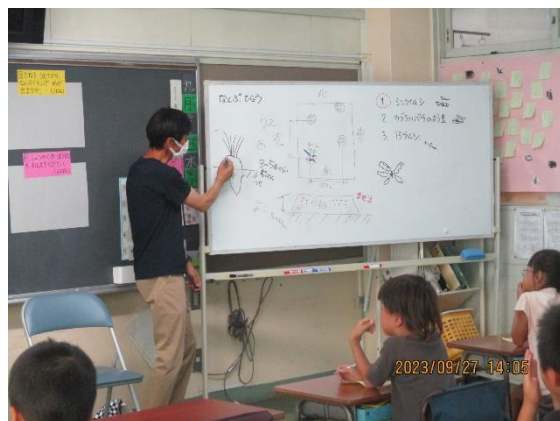


農家さんは、図も書きながらとても丁寧に説明してくださいました。児童は、図も写すなどして、真剣な様子で聞いていました。



班ごとに質問をし、農家さんに答えて頂きました。児童の聞く姿勢は真剣そのものでした。

聞き取ったことは、付箋用紙にメモしています。メモの取り方は、国語科で学習しました。



全体でも育て方のポイントを共有することで、より上手に大根を育てたいという意欲が高まりました。